

成果指標				
成果指標	保健センター利用回数及び人数			
指標設定の考え方	当面、保健センターの利用回数と利用人数を成果指標とする			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	500/3000	500/3000	500/3000	500/3000
実績	842/4231	689/3221	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	保健活動の拠点として適切な施設の管理運営を行っていく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市民の保健意識の向上を図るための拠点施設として、引き続き、適切な管理運営を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	当面は運営を継続するが、今後、利用者数の推移、施設の老朽化等を判断して、伊予市保健センターへの事業統合について検討を進める必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。